

6.3 騒音

資料編 6.3 騒音 目次

1. 飛行経路について…………… 資 6-3-1
2. 加重等価継続間隔騒音レベル(WECPNL)の予測コンターについて…………… 資 6-3-1

L字案とV字案の比較による航空機騒音・低周波音の 環境影響の低減について

1. 飛行経路について

L字案とV字案における北東及び南西よりの風の場合の飛行経路は図-6.3.1及び図-6.3.2に、飛行経路周辺集落における飛行経路と集落との距離は表-6.3.1に示すとおりです。

L字案の飛行経路周辺における周辺集落との距離は、安部集落の近傍を飛行し、辺野古集落では約700m、豊原及び松田集落では約500mとなっています。

V字案における周辺集落との距離は、安部集落で約380m、辺野古集落で約1,100m、豊原集落で約1,700m、松田集落で約1,400mとなっています。

L字案とV字案の飛行経路と集落との距離を比較すると、V字案の飛行経路の方が周辺集落から約380m～1,200m離れていることから、V字案の方が航空機騒音、低周波音による影響を相当程度低減できると考えています。

表-6.3.1 L字案とV字案の飛行経路と周辺集落との距離

集落名	L字案	V字案	V字案－L字案
安部集落	近傍	約380m	約380m
辺野古集落	約700m	約1,100m	約400m
豊原集落	約500m	約1,700m	約1,200m
松田集落	約500m	約1,400m	約900m

2. 加重等価継続感覚騒音レベル（WECPNL）の予測コンターについて

L字案とV字案における加重等価継続感覚騒音レベル（WECPNL）の予測コンターは図-6.3.3に示すとおりです。

L字案とV字案の加重等価継続感覚騒音レベル（WECPNL）の予測コンターを比較すると、両案とも70WECPNLの範囲内に集落はありません。

L字案の予測コンターによると、辺野古、豊原の陸域部が70Wの範囲内に含まれており、V字案では豊原沿岸域の一部が70Wの範囲内となっています。

L字案とV字案の陸域部における70Wが含まれる範囲を比較すると、L字案の予測コンターの範囲が大きく、V字案の方が豊原沿岸域の一部となっていることから、V字案の方が航空機騒音による影響を相当程度低減できると考えています。

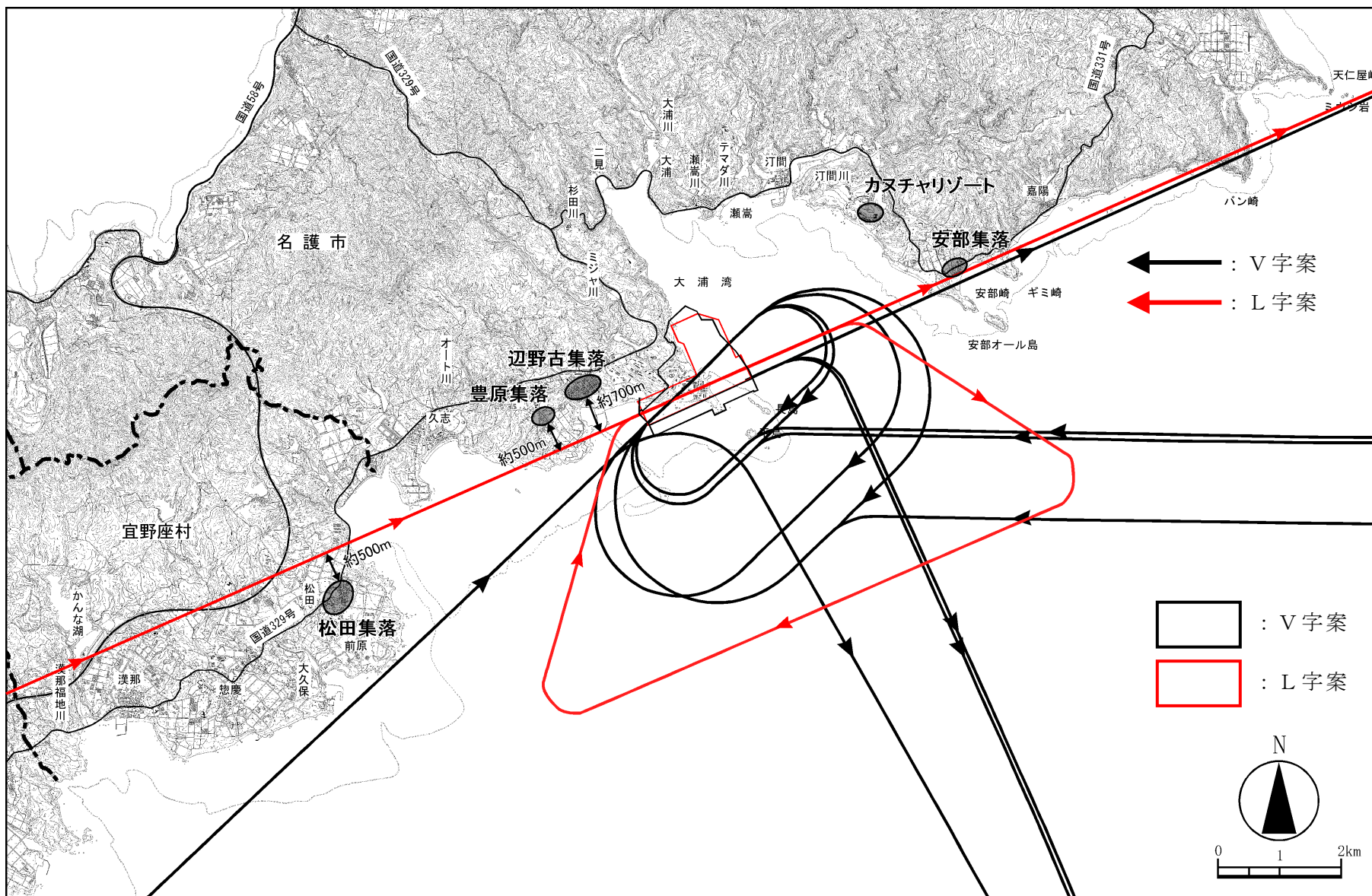


図-6.3.1 L字案とV字案の飛行経路の比較（北東：A方向）

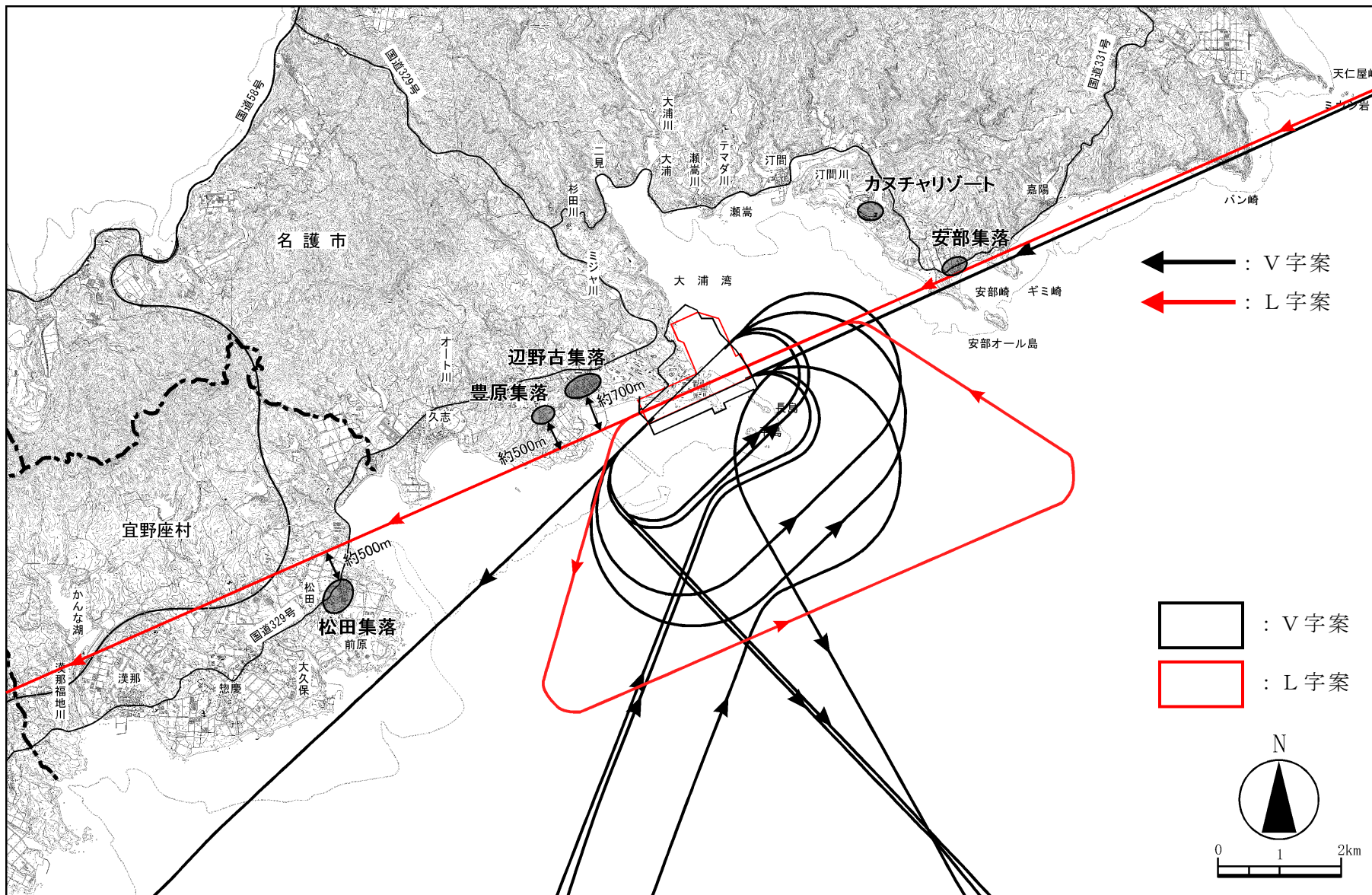


図-6.3.2 L字案とV字案の飛行経路の比較 (南西：B方向)

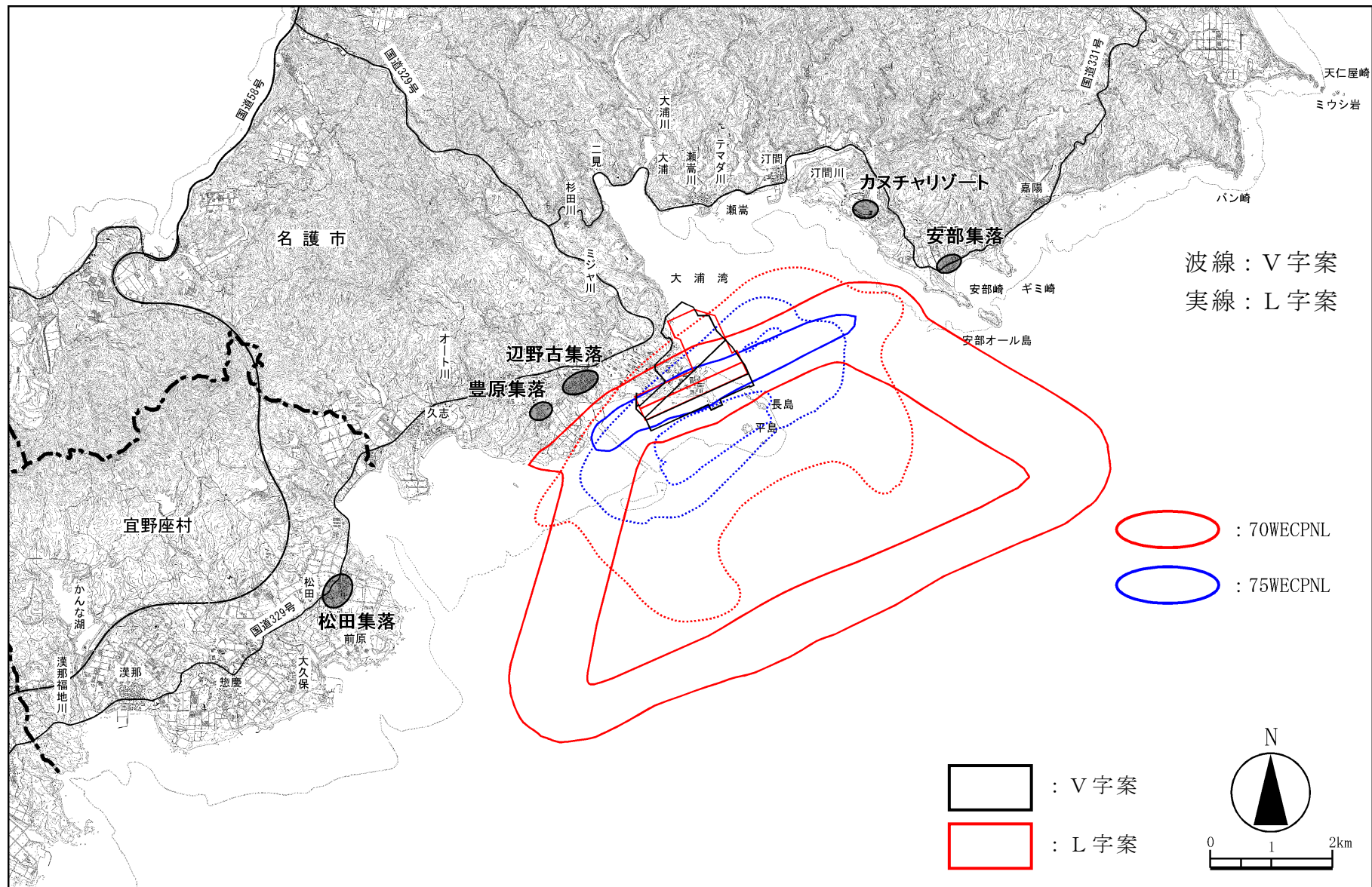


図-6.3.3 L字案とV字案の加重等価継続感覚騒音レベル (WECPNL) の予測コンター